

識別番号	P13
研究課題	上智学派を今に～社会と歩む研究の系譜
研究代表者	中野晃一（グローバル・コンサーン研究所所長、国際教養学部国際教養学科）
共同研究者	ホアン・アイダル（神学科）、小山英之（神学科）、三浦まり（法律学科）、江藤淳一（国際関係法学科）、阿部るり（新聞学科）、幡谷則子（イスパニア語学科）、田村梨花（ポルトガル語学科）、下川雅嗣（国際関係副専攻）、高島亮（国際関係副専攻）、福武慎太郎（アジア文化研究室）、辰巳頼子（清泉女子大学文学部地球市民学科）鄭基淑（Water Resources Policy & Economic Research Center）、藤井礼奈（研究補助員、グローバル・スタディーズ研究科地域研究専攻）
Summary	In accordance with the university's motto of "Men and Women for Others, with Others," the Sophia academic community has a strong tradition of open and active engagement with social issues. The Institute of Global Concern seeks to embody that very tradition of the "Sophia School" in the global age we live. The IGC has taken up such themes as the radioactive contamination/Great East Japan Earthquake, the legacies of the late Professor Murai, social action networking with the students organization, constitutionalism, gender and violence, migrants and minorities, development and social exclusion, labor issues, and human right issues. This year's join international symposium with the International Christian University will pick up the theme of democracy in the global age.

1. 研究の目的及び背景

グローバル化する社会のなかで人間の尊厳と連帯をもとめる指針を明確に打ち出し、グローバルな視点から貧困や暴力に関わる諸問題についての調査研究を行ない、講演会等を通じて学生や社会の意識化を図り、世界の人びとの尊厳と連帯の実現に資することを目的としています。

客観主義的なアカデミズムではなく「人びととともに立つ」ことを旨とする上智学派の継承と発展を目指しています。

2. 研究の方法・内容

毎年グローバル・コンサーン研究所では、多岐にわたる社会問題に関するシンポジウムや映画上映会等を実施しています。企画も研究所単独で、シンポジウムの形式通りに行うのではなく、学外の市民団体や専門家、学生団体、学内他部署と共同し、「学生と学問／大学と社会をつなぐ」一助となるように工夫を重ねています。ただ、グローバル化が進む現代社会において個別問題のバリエーションは幅が広く、すべてが共通して持つ「構造問題」が見えづらくなっているため、今年度は、年間テーマを設け、その軸に沿って企画立案および、実施をするようにしています。本年度のテーマは「民主主義」、1月18日（土）に実施予定の国際基督教大学社会科学研究所と協同の第33回国際シンポジウムがハイライトとなるよう、焦点を当てて年間通じた活動をしています。

3. 研究の成果

◆福島原発事故／3.11 東日本大震災

- ・シンポジウム 国連人権理事会グローバル勧告を受けて：福島原発事故後の「健康の権利」と被災者支援を問い直す
- ・スタディーツアー 学生と教職員の協働による創立 100 周年プレ企画
みちのく Renaissance！

◆小さな民の視点から：故・村井吉敬名誉教授から学び、上智学派の継承を目指して

- ・Book Fair 村井先生を偲ぶ アジアを歩く Book Fair（アジア文化研究所共催）
- ・BOOK CAFÉ 村井先生を偲ぶ アジアを歩く Book Fair 連動企画
BOOK CAFÉ 『徹底解剖 100 円ショップ 日常化するグローバリゼーション』
- ・続・村井ゼミ！「小さな民の視点から」～村井先生の映像をみる・はなすの会～
- ・追悼集会 村井さんと仲間の会

◆学生、市民社会とともに歩む

- ・学生が学内外の社会的活動と出会う場づくり
Sophia Discovery Party（2 回実施）
- ・Sophia Social Action Network（社会活動を実践する学生団体、IGC、学生センターとのネットワーク）の設立

◆立憲主義の立場から

- ・シンポジウム 「96 条の会」発足記念シンポジウム 熟議なき改憲に抗して

◆ジェンダー・性暴力

- ・デート DV に関するシンポジウム 愛していれば許される？
- ・慰安婦問題映画上映会 「終わらない戦争」

◆在日外国人・マイノリティの子どもたち

- ・連続シンポジウム～医療と教育の保障なき子どもたち
第一回：フィリピン移民一家の物語
第二回：ビルマ難民一家の物語
- ・シンポジウム 外国人収容所と難民～知られざるその実態～
- ・シンポジウム 世界のマイノリティ「ロマの子どもたち」

◆開発問題

- ・報告会 都市開発と貧困者Ⅱ アジア 10 ヶ国国交交流報告会
「持たざる者は連帯する 都市再開発は貧困者を排除する」
- ・講演会
ブラジルのセラード開発と環境・主権問題～大規模農業開発と小農民・農業労働者の暮らし～（イベロアメリカ研究所共催）

◆労働問題

- ・Book Fair 「働く」ってなんだろう Book Fair
- ・映画祭 Book Fair 連動企画 「働く」ってなんだろう映画祭

◆人権問題

- ・キャンドルイベント シャイン・ア・ライト